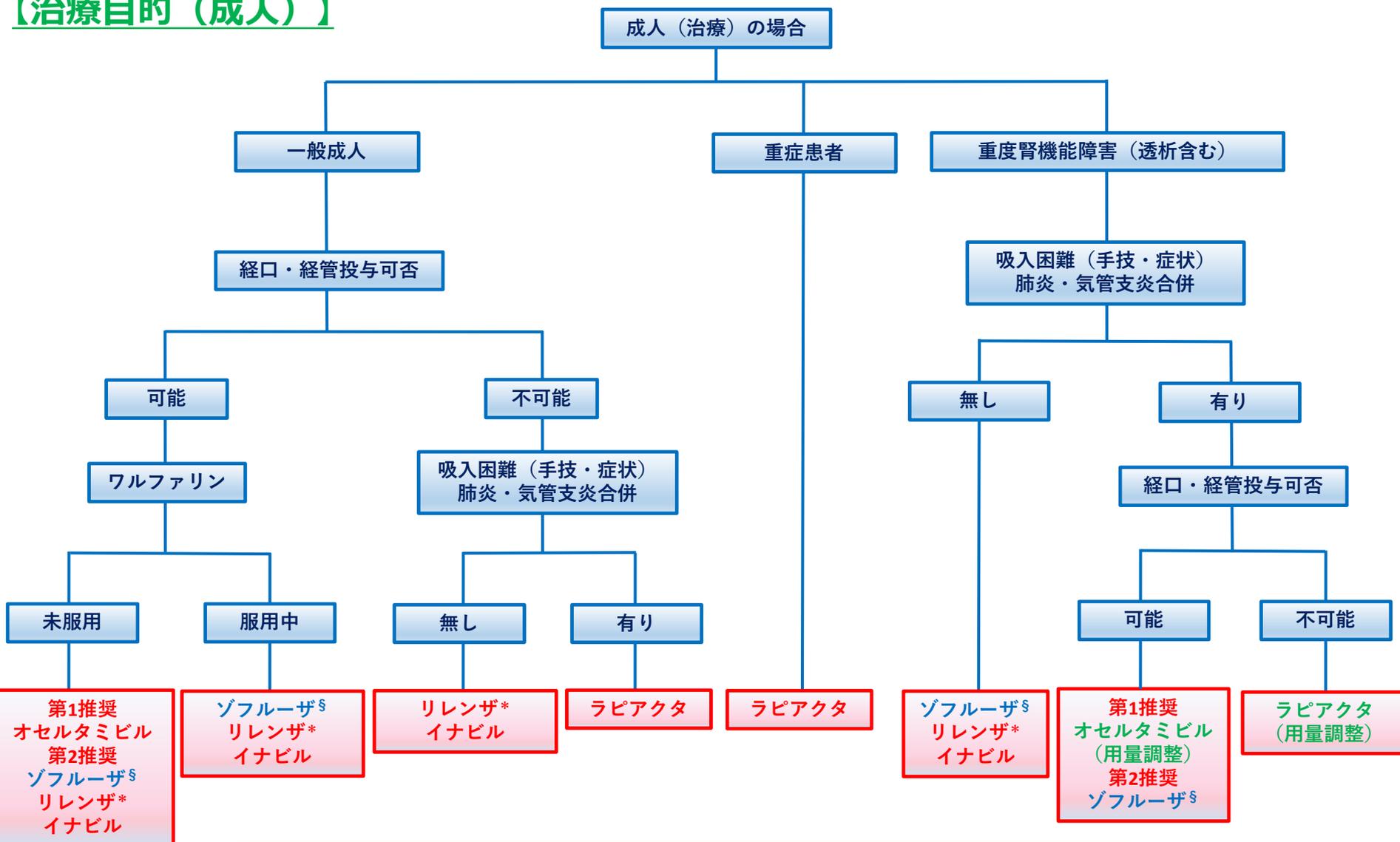


薬効群：抗インフルエンザ薬

推奨薬リスト

推奨度	一般名	剤形	商品名	採用区分	備考
第一推奨	オセルタミビル	内服	オセルタミビルカプセル 75mg (サワイ) オセルタミビルドライシロップ 3% (サワイ)	院内・院外	
第二推奨	バロキサビル	内服	ゾフルーザ錠 20mg	院内・院外	12歳未満および重症患者・免疫抑制患者に対するエビデンス無し
	ザナミビル	吸入	リレンザ	院外	院外処方の場合はザナミビルを推奨
	ラニナミビル	吸入	イナビル吸入粉末剤 20mg	院内・院外	
	ベラミビル	点滴	ラピアクタ点滴静注液バッグ 300mg	院内	内服・吸入が困難な場合

# 【治療目的（成人）】



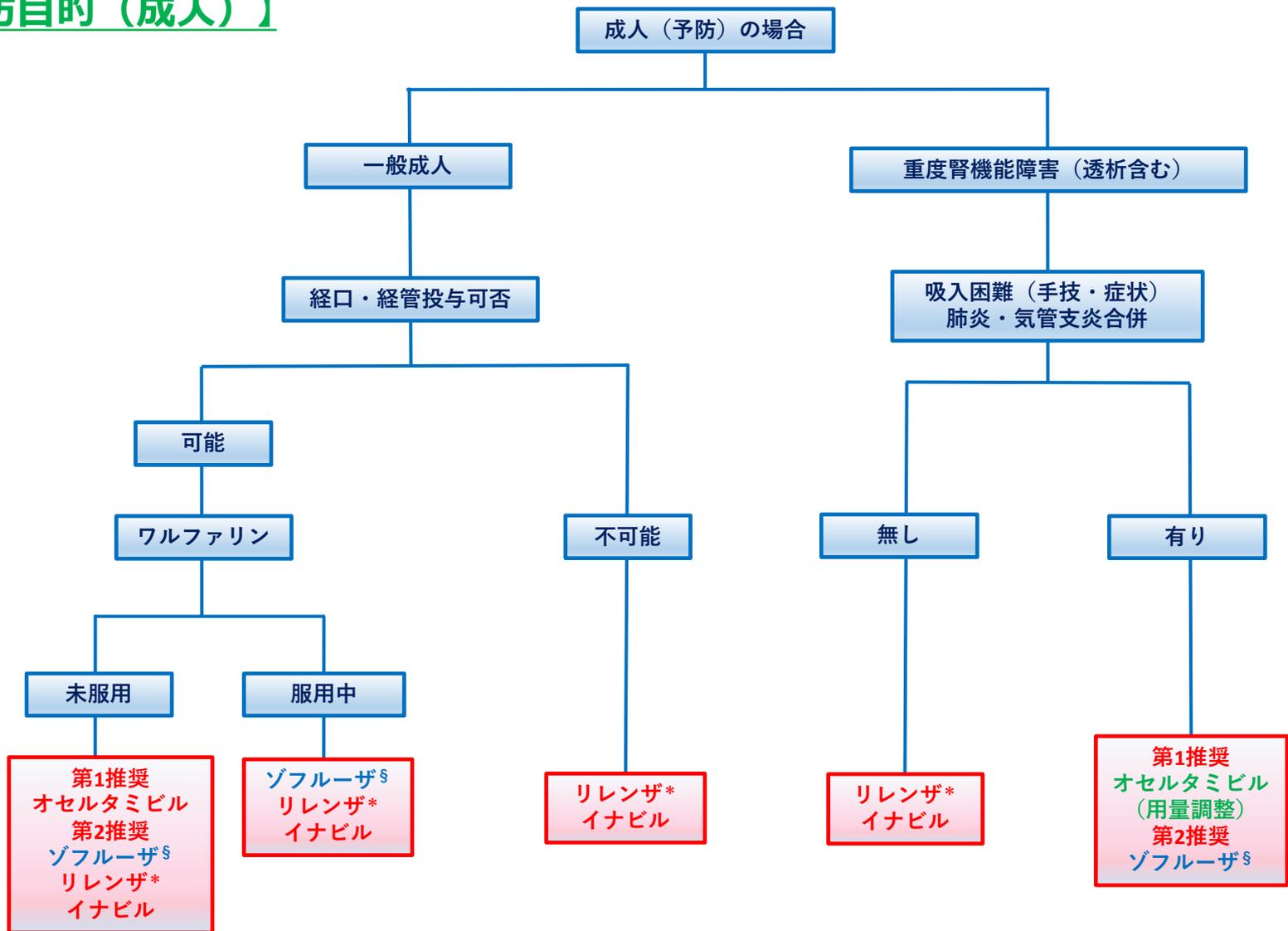
注) 肺炎や気管支喘息の合併例への、吸入薬（リレンザ・イナビル）の使用は避ける  
 注) 乳製品アレルギー患者へのリレンザ・イナビル使用不可

\* 院外処方時

§ 重症患者・免疫抑制患者に対するエビデンス無し

☆妊婦への使用については、吸入薬使用による呼吸器系の副作用の懸念からオセルタミビル経口が望ましい。  
 （産婦人科診療ガイドライン-産科編-2020より）

# 【予防目的（成人）】



注) 肺炎や気管支喘息の合併例への、吸入薬（リレンザ・イナビル）の使用は避ける  
注) 乳製品アレルギー患者へのリレンザ・イナビル使用不可

\* 院外処方時

§ 重症患者・免疫抑制患者に対するエビデンス無し

☆妊婦への使用については、吸入薬使用による呼吸器系の副作用の懸念からオセルタミビル経口が望ましい。  
(産婦人科診療ガイドライン-産科編-2020より)

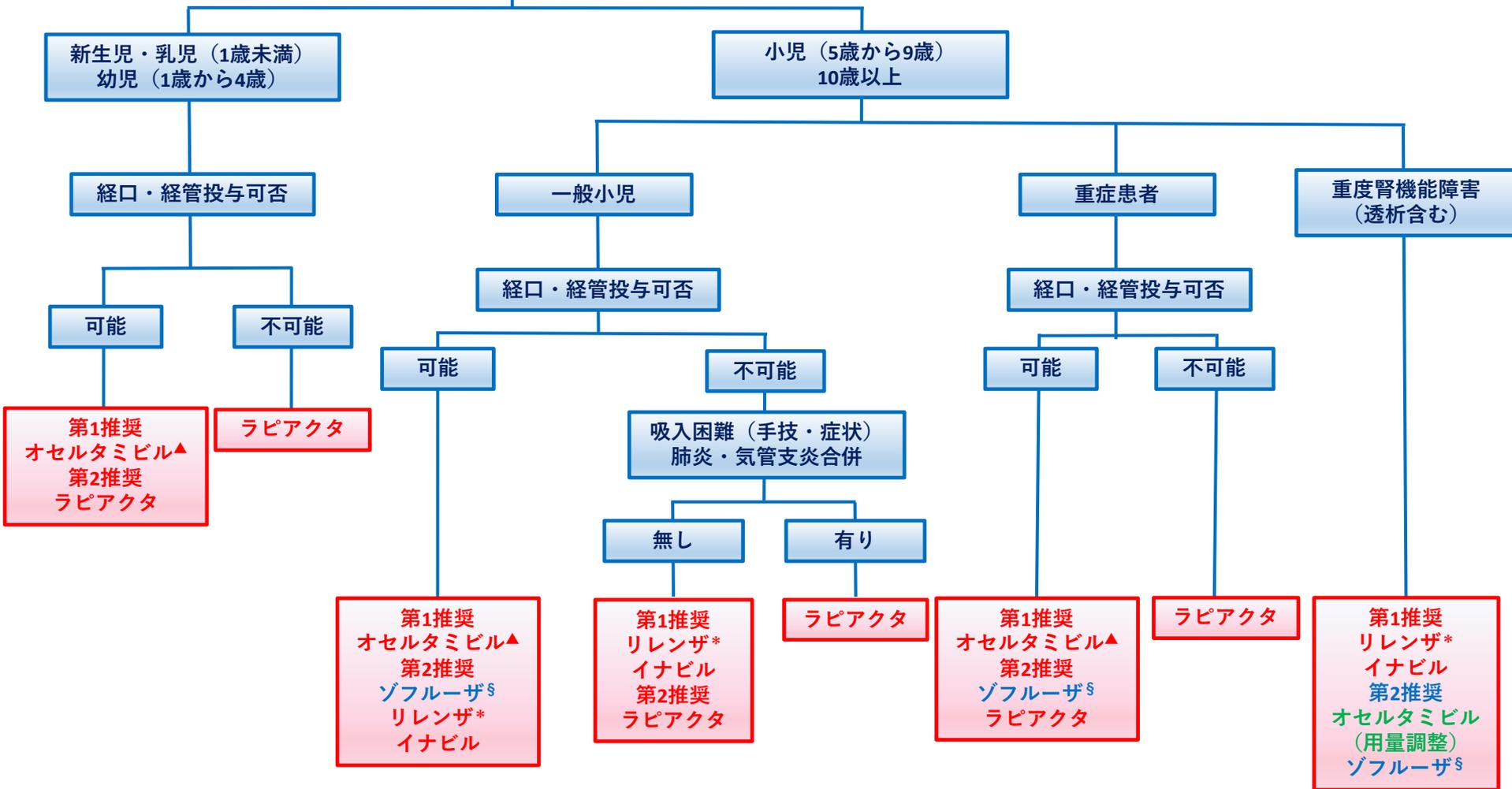
# 【治療目的（小児）】

小児（治療）の場合

新生児・乳児

オセルタミビル：生後2週以降の新生児と乳児に適応あり

ラピアクタ：生後1ヶ月以降の乳児に適応あり



▲ワルファリン服用中の場合は第2選択薬を推奨

\* 院外処方時

§ 12歳未満および重症患者・免疫抑制患者に対するエビデンス無し

注) 肺炎や気管支喘息の合併例への、吸入薬（リレンザ・イナビル）の使用は避ける

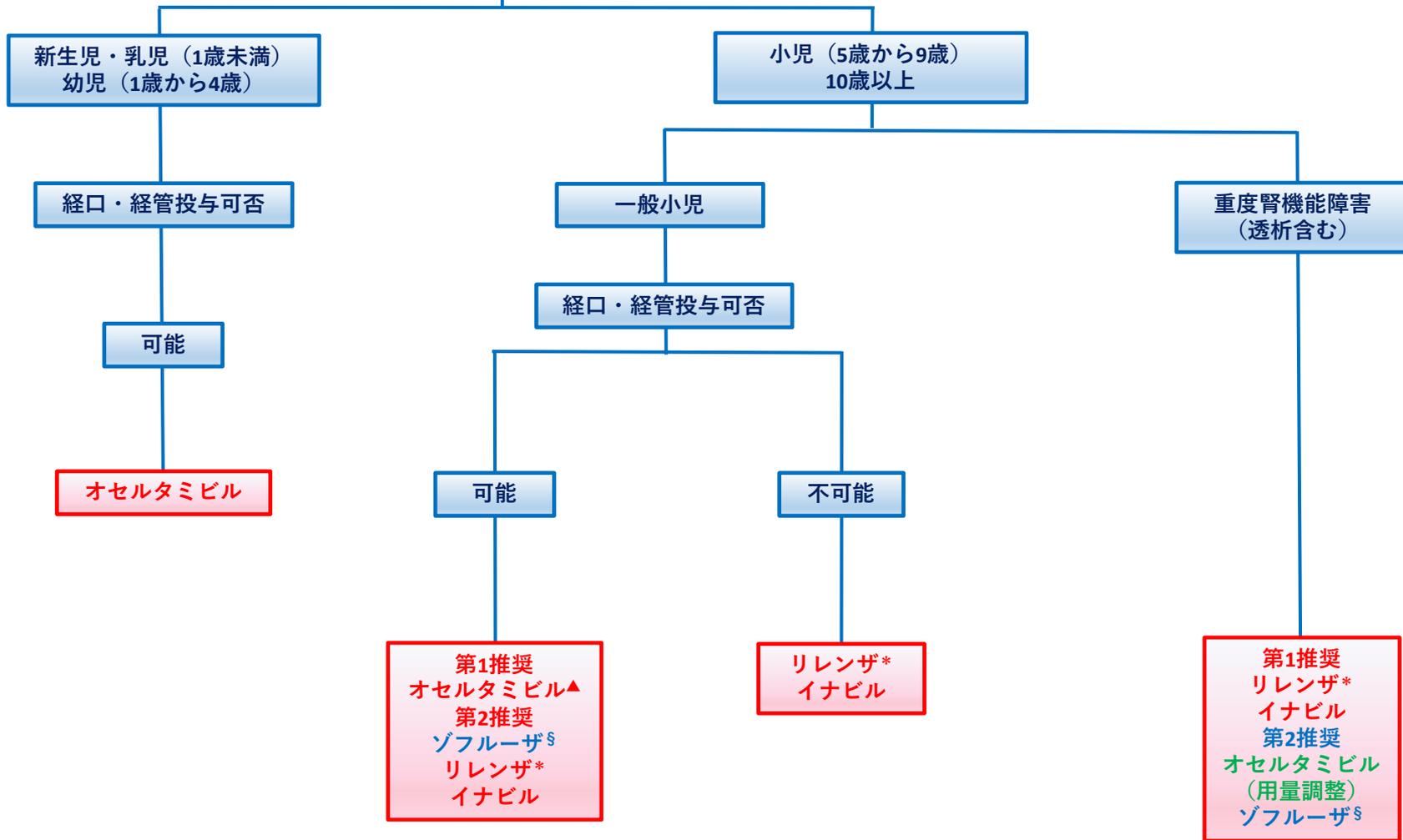
注) 乳製品アレルギー患者へのリレンザ・イナビル使用不可

# 【予防目的（小児）】

小児（予防）の場合

新生児・乳児

オセルタミビル：生後2週以降の新生児と乳児に適応あり



▲ワルファリン服用中の場合は第2選択薬を推奨

\* 院外処方時

§ 12歳未満および重症患者・免疫抑制患者に対するエビデンス無し

注) 肺炎や気管支喘息の合併例への、吸入薬（リレンザ・イナビル）の使用は避ける  
注) 乳製品アレルギー患者へのリレンザ・イナビル使用不可